

1 基本情報

- (1) 国名：バングラデシュ人民共和国（以下、「バングラデシュ」という。）
- (2) 事業地域名：チョットグラム市（人口：約 360 万人）
- (3) 案件名：チョットグラム市における廃棄物管理機材整備計画
(The Project for the Improvement of Solid Waste Management Equipment in Chattogram City)
- (4) 計画概要：
チョットグラム市において、廃棄物収集車両及び埋立作業用機材等を整備することにより、廃棄物管理能力の向上を図り、もって同市民の生活環境の改善及び公衆衛生の向上を通じた、バングラデシュにおける社会脆弱性の克服に寄与する。

2 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

バングラデシュは、インド亜大陸と東南アジアの結節点という地政学上の要衝に位置し、南アジア地域の安定と経済開発に重要な役割を果たしており、我が国にとって「自由で開かれたインド太平洋（F0IP）」を推進する上で鍵となる戦略的パートナーである。

バングラデシュでは、人口の増加と都市化の進展に伴い、都市における廃棄物処理の効率化が課題となっている。我が国は、これまで、首都ダッカや第二の都市チョットグラム市において、策定中のマスタープランをはじめ総合的な廃棄物管理体制の確立のための協力を行ってきているところ、本計画は、その基礎の上に収集・運搬体制の整備を図るものであり、バングラデシュの開発課題解決や二国間関係強化に資するものである。

加えて、本計画は、低環境負荷車両の導入を通じて廃棄物の適正な収集・運搬を促進する意味において、廃棄物の非衛生的な処理に起因する環境負荷の低減に資するものである。効率的な収集・運搬体制の構築は、大気汚染の抑制や大気質の改善にも資するため、我が国が国際場裡において推進してきた途上国の環境・気候変動分野への協力の方針とも整合する。

- (2) 当該国における廃棄物管理セクターの課題及び本計画の位置付け

バングラデシュでは、経済成長及び急速な都市化の進展に伴い都市廃棄物の発生量が増加している。第二の都市であるチョットグラム市（旧称：チッタゴン市）では、人口が 2011 年の約 250 万人から 2021 年の約 360 万人（同国統計局）へ増加したことに伴い、廃棄物発生量も 2014 年の約 1,600 トン／日（廃棄物管理機材整備計画協力準備調査報告書、2015 年）から 2021 年の約 3,000 トン／日（南北ダッカ市及びチッタゴン市廃棄物管理能力強化プロジェクト事業完了報告書、2022 年）と増加している。一方で、収集・運搬機材の不足・老朽化や非効率な運用により、同市の廃棄物収集率

は 2021 年時点で約 71%に留まっている。また、収集の多くを老朽化したダンプトラックに依存しているため、収集効率低下やごみ飛散、未収集廃棄物の放置による悪臭や害虫の発生や排水路閉塞による都市型洪水の一因となっている。我が国は無償資金協力や技術協力等を通じて継続的な支援を実施し、先行するダッカ市の知見共有等にも取り組み、同市の廃棄物収集量は 2014 年の約 1,200 トン／日から 2021 年の約 2,200 トン／日（南北ダッカ市及びチッタゴン市廃棄物管理能力強化プロジェクト事業完了報告書、2022 年）と一定の改善が見られたが、収集・運搬体制の整備が追いついておらず、廃棄物管理体制の抜本的な強化が喫緊の課題である。係る状況を踏まえ、2025 年より実施中の技術協力「ごみ減量化及び持続可能な社会構築支援プロジェクト」と連携し、収集・運搬能力強化と運用改善を通じてマスタープランの実現を支援する。また、南北ダッカ市での協力実績と同様に、チョットグラム市の廃棄物管理体制の改善に加え、本邦企業参入等の裾野拡大への貢献も期待される。

3 計画概要

* 協力準備調査の結果、変更される可能性あり。

(1) 計画内容

ア 施設・機材：廃棄物収集・運搬車両と埋立作業用機材（ブルドーザ等）計約 50 台（低環境負荷車両の導入可能性含め、詳細は協力準備調査で確認）。

イ コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネント：詳細設計、入札補助、施工・調達監理等。（詳細は協力準備調査で確認）

(2) 期待される開発効果

- ・ 廃棄物収集量（トン／日）の増加（基準値：2,187 →目標値は協力準備調査にて確認）
- ・ 廃棄物収集率（％）の増加（基準値：71 →目標値は協力準備調査にて確認）
- ・ 廃棄物管理能力向上や同市の衛生環境及び生活環境改善

(3) 被援助国側実施機関：チョットグラム市（Chattogram City Corporation）

(4) 他ドナーの動向・ドナー連携の可能性：特になし

(5) 実施体制、運営・維持管理体制

被援助国における全てのレベルの地方政府機関に予算付け、規制、監督をしている官庁である地方行政農村開発組合省地方行政総局（Local Government Division, Ministry of Local Government, Rural Development & Cooperatives）が、同市を監督する。予算・人事体制等の詳細は協力準備調査にて確認する。

(6) その他特記事項

- ・ 環境社会配慮カテゴリー分類：C
- ・ ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- ・ 本邦技術活用の可能性：廃棄物の含水量が多い点でチョットグラム市の廃棄物事情は日本に類似しており、狭隘な道路でも衛生的に廃棄物を運搬可能な日本製コンパクターが有する優位性を活かせる可能性有り。
- ・ バングラデシュの所得水準は相対的に高いものの、廃棄物問題は国内のみならず、ベンガル湾への海洋ごみ流出や沿岸環境への負荷増大等、広域的な環境問題の

解決にもつながるとともに、排水路への廃棄物堆積対策を通じて都市型洪水の災害リスクの低下にも資する（広域性、地球規模課題への対応）。また、チョットグラム市は同国最大の国際貿易港であり、我が国が F0IP の下で推進するベンガル湾産業成長地帯（BIG-B）構想における主要拠点でもあり、廃棄物管理の改善は同国の産業競争力及び物流機能の維持・強化にも資するもので、地政学的・戦略的観点からも重要性が高い（重要政策との関係）。加えて、他スキームとの相乗・連携効果も見込まれることから、無償資金協力に対応することが妥当と判断。

4 本計画に適用する類似案件の教訓

平成 27 年対バングラデシュ無償資金協力「廃棄物管理機材整備計画」（事後評価：令和 5 年度）では、車両の維持管理に非純正部品が使用され、耐用年数低下の可能性が指摘されていたところ、本計画では、協力準備調査を通じ、非純正部品で支障が生じうる機材を確認、純正部品の調達及び予算確保を実施機関及び主管省庁と合意することを検討する。

以 上

〔別添資料〕地図 バングラデシュ「チョットグラム市における廃棄物管理機材整備計画」

地図 バングラデシュ「チョットグラム市における廃棄物管理機材整備計画」

